

市 制 施 行
110周年記念

さらなる飛躍の舞台へ!

全国大会優秀賞記念文化祭



日々研さんを重ね、全国に誇れる文化活動をしている皆さん(団体5、個人2)が一堂に会した「全国大会優秀賞記念文化祭」。市制施行110周年記念事業として、昨年12月19日にりゅーとぴあ(市民芸術文化会館)で行われた。全国の頂点を極めたレベルの高さに観客は魅了され、郷土にいがたへの愛着と誇りを持つ契機となった。

第2部の最後に登場した新潟中央高校ダンス部。司会者の紹介の後、劇場に一瞬静けさが漂う。次の瞬間、音楽が劇場内に鳴り響き、ライトアップされたステージには、元氣一杯にこやかに舞う彼女たちの姿があった。



新潟中央高校ダンス部

約50年の歴史を持つ新潟中央高校ダンス部。磨かれてきた伝統は「創造性」。テーマ選びから、振り付け、衣装、音楽、照明に至るまで自分たちで創りあげる。同文化祭では「地雷ではなく花をください」(写真上)、「The Real Thing」(写真下)のほか、4つの創作ダンスを披露した。



山本都子さん、新潟市出身。日本大学芸術学部演劇学科卒業後、文学座研究所に入所。平成4年に文学座の座員となり、舞台をはじめテレビ、ラジオ、朗読と幅広い分野で活躍中。今回の文化祭では司会を担当。

文化祭に出演したみなさん!

2部構成で同文化祭は進められた。第1部では、伝統芸能を楽しみながら次世代へ伝えようとする人々を、第2部では、若くして自分を表現する術を得、のびのびと新しい世界を切り開く可能性に満ちた人々を紹介。公演時間は約3時間に及んだ。

第2部

山の下中学校吹奏楽部



第1部

新潟民謡研究会



新潟市相撲甚句の会



新潟民謡愛好会



枝並 千花さん
(バイオリン)



鶴橋 知也さん
(エレクトーン)

楽 屋

楽屋では、立ち位置や舞台へ飛び出す間合いなど、入念なチェックが繰り返される。本番のこやかな表情とは異なり、誰もが厳しい表情で、室内は緊張した空気が張り詰める。



練 習

毎日繰り返される厳しい練習。しかし、全国・世界を目指す者にとっては当たり前のこと。顧問の外山陽子教諭は「練習だけでなく、普段の生活や勉強がしっかりできなければ、うまくはなれない」と語る。素足で踊る彼女たちの足は、さらなる飛躍の舞台へ向かって踊りつづける。



衣装選びは、先生はじめ全員で意見を出し合う



1日課となっているストレッチや基礎練習は約1時間半行われる

